



藤本 みのる 通信

Vol 373

2021年4月19日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

小山田信茂公の短編映画

山梨県が武田信玄公生誕 500 年事業で、小山田信茂公の逆臣の汚名を返上する短編映画を製作すると発表しました。これらが県政での郡内格差是正の一步になることを期待しています。

『大月市史 通史篇』(1978.12)には、「中世」で小山田氏が 120 ページに渡り取り上げられています。第 4 章「小山田氏の滅亡」では、信茂公が、「郡内領民の勝頼入郡阻止運動」を前に、自滅を防ぎ「家と領土を守るため」に変心し、笹子の関で落人主従の進路を阻んだと書かれています。通説を前提にしています。

一方で山元泰生氏は、『小山田信茂』(学陽書房人物文庫 2012.1)のあとがきで、「これまで特に郡内地方では、小山田信茂の生涯と事跡を調べなおし、再評価しようとする研究や活動が重ねられてきた。…『逆臣』説をなんとか覆したいという願いである。それらの努力は着実に実りつつある。私も新しい信茂像を築こうとした」と。大月市では小山田信茂公顕彰会(2018.1)が発足し、「笹子峠は封鎖されていなかった」事実をはじめ、研究成果を発表しています。時代背景の解明もさることながら、できうるなら名誉回復を果たしたいと願っています。

信玄公生誕 500 年記念事業

<https://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/shingenkoseitan.html>

【タイトル】「信茂と勝頼 (仮)」

【脚 本】三谷昌登

【映像概要】語り＋ドラマ
5 分×5 本程度

【公 表】令和 3 年 10 月 (予定)

【制 作】製作委員会

○小山田信茂

武田家家臣で一門衆待遇

武田二十四将の一人

兄信有の病没後に家督を相続し、信玄・勝頼の二代に仕え、富士・東部地域を統治。武田氏滅亡後、織田軍に捕らわれ、処刑。

その評価は、逆臣とするもの、忠臣とするもの、それぞれの見解があり、今なお、郷土史研究家を中心に研究が行われている。

【藤本みのる活動日誌】

4月14・15日 実りの時間(笑いの家でのお話)

4月20日(火) 議員定数等調査特別委員会、議員定例懇談会